

東京都の南鳥島の鉱物資源に関する
情報を知りました。是非YOUTUBEで
発信されていた方のリンクを掲載 Click

AI 読み上げ 識字95%

<http://tainak.jp/>

20世紀迄の日本は、国土が狭く資源も無いというのが小中学校の授業でも定説でした。

しかし、21世紀からは領海を含めた「排他的経済水域EEZ」の面積では、約447万平方キロと国土面積38万平方キロの約12倍の広さを持っており、この広さは世界第6位となっています。

日本の国土面積は約38万平方キロメートル。

これは世界61位である。

ところが排他的経済水域と領海を足した面積は447万平方キロメートル。

一気に世界で6位に躍り出る。これで驚いてはいけません。

海の深さ、つまり海水の体積を比較すると世界4位にまでランクアップするのだ。

海には海底資源、海洋資源、水産資源などさまざまな資源がある。

たとえば東シナ海にはイラクの油田に匹敵する1000億バレルの原油埋蔵量が存在すると試算されている。

レアアースは「産業のビタミン」とも呼ばれ、再生可能エネルギー技術やエレクトロニクス、医療技術分野など、日本が誇る最先端産業に必須の金属元素です。

その一方で、レアアースの世界生産は中国の寡占状態にあり、不安定な価格や供給構造の脆弱性といった潜在的なリスクが問題となっています。

こうした背景の中、2012年に日本の排他的経済水域 (EEZ) 内でレアアースを豊富に含む深海堆積物「レアアース泥」が発見され、将来の開発に向けた期待が高まっています。

政府は日本最東端の南鳥島(東京都小笠原村)周辺の海底に埋蔵されるコバルトなどのレアメタル(希少金属)について、採掘の商業化を進める方針を固めた。

2028年末までに採掘技術を確認させ、排他的経済水域(EEZ)内での採掘場所も決める予定だ。

中国も同島周辺の豊富な海底資源に関心を強めており、資源確保に向けて対抗する狙いがある。

早稲田大学の高谷雄太郎講師と東京大学の加藤泰浩教授らの研究チームは、日本の最東端にある南鳥島(東京都)周辺の海底下にあるレアアース(希土類)の資源量が世界の消費量の数百年分に相当する1600万トン超に達することを明らかにした。

2018年、早稲田大学の高谷雄太郎講師と東京大学の加藤泰浩教授らの研究チームが南鳥島の南方にある約2500平方キロメートルの海域で海底のサンプルを25カ所で採集し、レアアースの濃度を分析した。

その結果、ハイブリッド車などの強力な磁石に使うジスプロシウムは世界需要の730年分、レーザーなどに使うイットリウムは780年分に相当するという。

レアアースを効率的に回収する技術も確立した。

メタンハイドレートは、メタンと水が低温・高圧の状態では結晶化した氷状の物質で、火をつけると燃えるため「燃える氷」とも呼ばれています。

メタンハイドレートの生産技術はまだ確立しておらず、現在、において研究開発が進めら

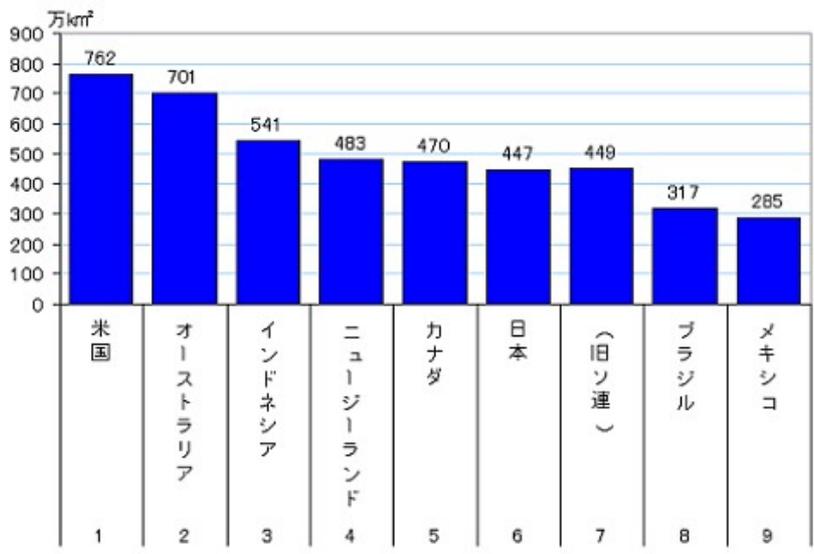
れている最中です。効率的な生産技術が開発されれば、日本の天然ガス消費量の100年分以上が日本の周辺の海に存在すると見られていることから、将来国産の有望な炭化水素資源として期待されます。

JOGMECがこれまでに行ってきた調査を基に試算すると、今回の試験を行った拓洋第5海山だけでも日本の年間消費量約88年分のコバルト、約12年分のニッケルを含むクラストの存在が期待されるという。

詳細資料は、こちらから [ダウンロード](#)

[海上保安庁パンフ](#)

世界の排他的経済水域面積ランキング



中国政府は、この海域の資源開発研究を30年以上前から続けており、1999年に平湖ガス田（全体が日中中間線より中国側にあるガス田）で天然ガスの生産を開始している。

中国は経済成長により電力需要が逼迫していることから、春曉（白樺）、天外天（檜）両ガス田でも日本の抗議にもかかわらず探掘施設の建設を進め、2005年9月下旬には、日中中間線から4キロメートルの位置で天外天ガス田の生産を開始した。なお、11月にも操業を始めるとみられる春曉（白樺）の探掘施設は、中間線から1.5キロメートルしか離れていない。

2004年6月、中国が春曉（白樺）の本格開発に着手したことがわかり、春曉（白樺）・断橋（楠）付近の海域を独自に調査。春曉（白樺）・断橋（楠）は地下構造が中間線を挟んで日本側につながっており、天外天（檜）、龍井（翌槍）もその可能性があることを日本政府は確認した。このため、中国が日中間で地下構造がつながっているガス田の探掘を始めると日本側の資源まで吸い取られてしまう可能性が高いとして問題視している。そして、外交ルートを通じて当該海域での開発作業の即時中止と、地下構造のデータ提供を求め続けているが、2005年現在、中国側はデータ提供を拒んでいる。

ガス田の位置と日中中間線。日本名：春曉は「白樺」、断橋は「楠」、冷泉は「桔梗」、天外天は「檜」、龍井は「翌槍（あすなる）」